

令和8年度

事業計画書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

当事業団は、草津市協働のまちづくり条例に基づく市の指定を受けた中間支援組織として、市民公益活動団体や地域まちづくり協議会等民間のステークホルダーと行政との官民連携の結節点として協働のまちづくりを推進しています。令和5年度から令和9年度までの中期行動計画として定めた「アクションプラン2023」に基づき、“**確かなコーディネート力と明日へとつながる伴走支援で、協働のまちづくりをリードします**”を組織ビジョンに掲げて様々な事業を展開していきます。

令和8年度は、市民活動の交流の場として年々認知度が高まっている草津市立市民総合交流センター「キラリエ草津」の拠点機能を軸にして、市民公益活動団体への支援と協働を一層進めるとともに、引き続き市の各機関やまちづくり協議会と連携を深めバックアップ型支援とプロデュース型支援を駆使しながら、地域コミュニティ振興の取り組みを進めます。

また、インフレの続く厳しい社会情勢の中でも持続可能な法人運営を行うとともに、さらなる「事業団ブランド」の確立を目指し、草津市の豊かなコミュニティづくりに欠かせない存在となるために、次に掲げる3つの基本方針のもと、令和8年度の事業計画を定めます。

(1) 事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”を追求します。

草津市の「第6次草津市総合計画」に掲げられた第2期基本計画リーディング・プロジェクトの1つである「地域の支え合い推進プロジェクト」に基づき、各地域まちづくり協議会の支援については、引き続き会計・税務・労務等業務の支援を行うとともに、人材育成や地域課題の相談対応、地域まちづくり計画の策定支援等、地域のまちづくりに関わる支援の強化を図ります。

市民公益活動団体等に対しては、くさつラウンドテーブルやひととまちの未来をつくるカレッジ等の事業団主催事業の実施やキラリエ草津の指定管理者として企画運営するキラリエマツリの開催等を通じて、事業団ならではの専門性とネットワークを遺憾なく発揮し、キラリエ草津が市民活動の交流や協働の拠点として市民の皆さまに愛され親しんでいただけるよう、取り組みを発展させていきます。

(2) 政策支援型の公益事業を展開し、指定管理施設の社会的価値を高めます。

持続可能で安定した経営基盤を確保するため、現在受託している指定管理施設について事業の選択と集中により効率的かつ合理的な施設運営に努めます。具体的には、高齢者を含む多世代間交流を図り「健幸都市」を推進するロクハ荘、みどりのサポートセンターを窓口に「ガーデンシティくさつ」を推進するロクハ公園、草津市文化振興条例に基づき市民とともに創るスタイルで市の文化振興計画で位置付ける「13万人の文化プ

プロジェクト」等を実施する文化ホールの3施設において、それぞれの施設の特徴を生かしながら市の政策実現を支援する公益事業を展開して施設の社会的価値を高めるとともに、急激なインフレが進み経営環境の厳しさが増す中にあっても様々な社会情勢の変化に機敏に対応しながら、引き続き、安全・安心な施設運営に努めます。

(3) 変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

人材マネジメントについては、働き方改革に伴う契約職員等の処遇改善や各種研修、コンピテンシーモデルと言われる職員の行動規範を示した人材育成評価制度等を通じて、職員の人材育成、組織体制の強化を図ります。

また、ロクハ荘と公園事務所連携の多世代交流事業や、まちづくり振興課と文化ホール連携のまちづくり協議会支援事業等、組織間の連携事業を推進することで強くしてしなやかな組織体制を構築します。

複雑多様化する社会の中で、「困ったときは事業団」と気軽に相談していただけるよう、市民によるまちづくり活動を中間支援組織として支えるとともに、市の各種政策を支援できる「オンリーワン」の組織として、これからも、先駆性、挑戦性を大切に、変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

事業計画

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興およびまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

ア. 市民公益活動団体等の交流促進

① キラリエ草津周年交流イベント「キラリエまつり」等の開催

キラリエ草津の共同指定管理者として周年交流イベントであるキラリエまつりのコーディネートを行います。キラリエ草津の各入居団体やキラリエサポーター、草津市等と連携し多くの出会いやつながりを生みだし市民交流を促進します。

また、自主事業として開催するまちづくり講座でも多彩な人材を講師として登用することで、あらたな交流を創出します。



② くさつラウンドテーブル

地域の課題や取り組み、まちへの想いをテーマにした対話を通じて、気づきや学び、つながりづくりの場として「くさつラウンドテーブル」を開催します。草津市や市民世話人等と連携し、肩書や立場を外してフラットな立場で対話できる場づくりを行い、地域課題の解決や協働事業の創出へ向けたアイデアを出し合い協働のまちづくりの促進を図ります。

イ. まちづくりに関する情報の収集および発信

① まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行

2回の市域版に加え、特定の地域を対象とした地域版も2回発行します。

地域版の作成にあたっては、地域まちづくり協議会と協働で取り組み、地域まちづくり情報の充実と広報力の向上、地域とのつながりづくりに活かします。



② 市民公益活動団体情報の収集と発信

市内で活動する市民公益活動団体の基礎情報をHPで発信し、団体の情報発信やパブリシティ活動、ボランティアマッチング、団体同士のネットワーク形成等団体の基盤整備に

活用します。掲載団体に対しては他団体の活動や実務に有益なサポート情報を掲載するニュースレターを通じて活動の基盤強化を図ることで広報チャンネルの幅を広げます。

③ コミュニティ FM を活用したまちづくり情報の発信

まちづくり活動に取り組む団体の活動 PR の機会として、今年度も FM 番組「くさつコミュニ TeaTime!!」を、えふえむ草津と連携しながら制作・放送します。“市民自らが出演する FM 番組”として情報誌や助成事業、地域まち協サポート等とも関連づけながら、多くのまちづくり団体がタイムリーに出演できるようコーディネートを行います。



④ まちづくり協議会 HP 運営サポート

地域まちづくり協議会による地域運営の透明性の確保と広報力向上のため、希望する 11 協議会の HP 運営をサポートします。各まち協と HP 保守契約を締結し、IT 系 NPO と連携してサイト運営をサポートします。

この他、LINE公式等 SNS での情報発信の支援等、HP 以外でも広報や IT 推進の支援も行います。

⑤ 地域情報共有サイトの運営（市受託事業）

市や各機関、団体が市内で主催する様々なイベント情報について、集約と一元化・可視化を行うことで機関や団体間の交流や連携の機会を生み出します。また、市民がまちづくり情報を容易に取得できる環境を整えイベントに参加しやすい状況を生み出すことで、更なるまちのにぎわい創出につなげます。

ウ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング等

① 相談・コンサルティング

中間支援の基幹業務として、多様なまちづくり相談に職員が「まちづくりコーディネーター」として対応します。団体運営や事業の進め方に関する助言から、団体間のコーディネートまで幅広い対応を行います。また、それぞれのニーズに応じながら、地域まちづくり計画の策定サポートや人材育成講座、まちづくり講座の実施、事業団の関係施設や大学等と連携した各種サポートも実施します。



また、地域まちづくり計画の策定等専門性や実務が伴う業務に対しては、有償型支援を基本とし、その収益を職員の間接支援力向上のための人材育成に活用していきます。

エ. まちづくりに関する人材育成および研修

① ひととまちの未来をつくるカレッジ

市民公益活動団体や地域まちづくり協議会、これから活動を始めようとする市民を対象とした学びの機会を提供します。想いをカタチにしてきた実践者の講演や地域の取り組み好事例の紹介、学生サークルと地域のマッチング会等、柔軟かつ多様な形で「学び・気づき・つながりづくり」の機会を創出します。

講演動画の期間限定配信、オンライン型やハイブリッド型による開催等多様な参加形態を確保し、「キラリエサポーター制度」とも連携することで草津の市民公益活動団体や関心層に広く深く提供します。



オ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

① ひとまちキラリ（助成／活動賞）

市民公益活動団体への助成事業である「まちづくり活動助成」と、長年、地域で地道な活動を続けてきた団体に“ありがとう”の気持ちを伝える表彰事業「イキイキ活動賞」を引き続き実施します。特に助成事業では活動のスタートアップを支援するため、資金支援だけでなく活動全般に寄り添う伴走支援を行います。併せて実務型研修講座を行い、基本的な実務スキルの習得や団体間の連携を強化します。



② まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務

地域まちセンの指定管理者として、3期目を迎えている地域まちづくり協議会の会計・税務・労務等の日常業務のサポートおよびネットワーク環境のインフラ整備と保守を草津市から受託し、各協議会の適正かつ円滑な事務を支援します。報告書類提出時期や法改正に合わせた研修、個別相談会についても引き続き実施し、草津市と協議会、事業団での情報共有については昨年度開設した独自のまち協向け情報ポータルサイトを活用しながら、効率的かつ円滑に行います。

③ キラリエサポーター支援業務

キラリエ草津の共同指定管理者として、キラリエサポーターの登録・更新事務や付随する業務を行います。草津市が定める基準に基づく登録・更新に係る事務を行いながら、中間支援組織としてより効果的な支援と伴走を行うことで、キラリエサポーターの活躍機会の提供と市域還元を図っています。

④ 市民交流スペース「協働ひろば」運営管理業務

キラリエ5階のフリースペース「協働ひろば」の運営管理を市から受託して行います。動画や SNS を使った情報発信等「情報を得るだけでなく、情報が生まれ発信されるスペース」としての機能や、キラリエサポーターをはじめとする様々な活動団体に、多様な使い方を提案し、団体間の交流やチャレンジ企画ができる場所として活用されるよう、柔軟に取り組みます。

また、カフェ機能を活かした交流型の敷居が低いミニ講座・体験会等を開催し、市民交流スペースとしての機能も高めます。



⑤ 草津コミュニティ支援センターのサポート

草津駅西口にある草津コミュニティ支援センターの施設管理を行います。公設市民営による中間支援センターとして、登録団体により構成される「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営をバックアップしながら、運営会や利用団体が安全・安心に利用できるよう施設管理面でのサポートを行います。

⑥ まちづくり機器の貸出

市民公益活動団体や地域まちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るための交流イベント等に利用する厨房機器等の「各種まちづくり機器」を貸し出します。また、協働ひろば（キラリエ5階）では、活動の事務作業や情報発信等に必要な各種機材を提供し、活動をサポートします。

カ. その他、各種団体との協働事業の推進

大学や地域、キラリエ草津入居団体等による交流事業の運営サポートを通じて各関係機関、市民公益活動団体等との交流促進と伴走支援を図り「まちづくり×福祉」「学生×地域」「行政×市民公益活動」といった協働モデルの創出に取り組みます。

また、キラリエ草津の指定管理者としてキラリエ草津交流イベントを活動団体と共に運営し、施設やプロムナードを有効に活用しながらイベントの目的である市民交流・社会参加・協働推進を進めていきます。



2. 高齢者福祉および多世代交流に関する事業

(1) 長寿の郷ロクハ荘

指定管理期間（令和7年度からの5年間）の2年目となります。

指定管理提案としてこれまで行ってきた「健幸都市くさつ」をもとに、ロクハ荘を「Well-being を実現させるシニア世代のパートナー」と位置付け、事業を展開しながらも安心・安全な管理運営に努めます。

① 高齢者の外出の機会の創出

人生百年時代となった今、高齢者の方々にはこの場（ロクハ荘）があるだけで、そこ（ロクハ荘）に行けば仲間がおり・時間を忘れる仲間との話や交わり、そしてそこには温浴施設があります。

それは「外出」という言葉につながっていきます。これまで市社会福祉協議会との連携から地域に出向く事業を実践して参りました。そのことは、まず外出の第一歩として「地域サロン」等で行われる「フレイル対策」の一環になり、しいてはそこに参加した方々が次は「ロクハ荘へ行く」機会の創出につながります。

ロクハ荘はこれからも「外出」をキーワードにロクハレクや e-Sports 事業のお出迎え・駆付け講座、脳活サロン、「地域食堂ロクハ」やお風呂の日イベント風呂、季節（しょうぶ・ゆず）のお風呂等、引き続き実りある事業展開を行っていきます。



② 高齢者の社会参加の場の提供

一億総活躍の時代にあって、様々な経験と能力で時代をリードし日本経済を支えてきた方たちも高齢者としての時代を迎えています。しかし、今尚それらの方々が社会へ参加していただくことは、これからも大変重要なものと考えます。

ロクハ荘では、まず気軽に参加できる雰囲気づくりを提供します。高齢者が講座等の学びを通し共通した話題で会話が弾み、それが「健康長寿」を目指す大切な時間をつくり、やがて仲間づくりへとつながります。

ロクハ荘が今日まで培った事業のノウハウを仲間づくりのお手伝いに役立てるとともに、ロクハシェイクアウト、ロクハギャラリーや「地域食堂ロクハ」（オレンジカフェ）等仲間づくりの場の提供を実施していきます。



③ 仲間づくりの輪を広げる

ロクハ荘に集まる人たちの「輪」を広げることの重要性を考え、参加型の講座・講習会の種類や、生活していく上での必要な学習事業を実施します。それらの事業を行うことで、学びを通して「必要な知識」にとどまらず、仲間づくりの場の提供に寄与し、それが大きな「輪」となり、社会的孤立や引きこもり等の課題解決策となることを目指して、積極的に取り組んでまいります。

参加型のロクハ実験農場や寄せ植え講座、ヤーンボミング装飾（編み会）や世界の美味しい料理で異文化交流、アウトドアクッキング、ロクハ自然素材でSDGsを学ぶなど「緑葉あそびクラブ」として、知識や技能を高める場を提供していきます。



④ 多世代の交流が深まる

ロクハ荘では「赤ちゃんの駅」に登録し、公園を利用される若いお母さん方やつどいの広場「くれよん」利用者の方々が気軽に授乳やリラックスできる場等の支援もできる体制を整えた施設として貢献しており、また、多世代が交流できるコンサートやイベント、こども縁日等を開催しています。

今後も、高齢者を含め多世代の皆さまが、集い・ふれあいのできる機会づくりとしての「地域食堂ロクハ」、コンサートや自習スペース等こどもの居場所づくり、手ぶらでお風呂等のイベントや講座も含めた事業を積極的に展開していきます。

⑤ 自らの健康づくりや介護予防の継続

ロクハ荘では、これまで健康に関する事業を多く行ってまいりましたが、実施したすべての講座・講習会等の参加者各々が「健康」という言葉に敏感に反応し、大きな関心を持っておられることを実感してきました。

それはまさに、草津市が提唱している健幸創造都市へのサポート事業の一環と認識しており、高齢者が健やかな生活を送ることができるよう、高齢者が健康に対する関心を持ち、健康づくりの実践につながるよう、セラミックボール足湯やスープリュームビジョン（視機能・認知機能測定器）、e-Sports（太鼓のリズムゲーム等）を配し、くさつ健幸ステーションの充実を図ります。

これらのことを踏まえ、引き続き利用者自らがその事業等に参加する必要性と行動が大切と認識できる「健康づくり」「介護予防」に関心ある事業を推進、実践して高齢者にとって喜びの時間を創生していける場の提供となるよう健康バンド、百歳体操やロクハレク、e-Sportsの他、脳活サロン、健康チェックや赤ちゃんの駅事業の離乳食相談会等を行ってまいります。



3. 環境および公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園等

令和8年度は、令和6年度から始まった（公財）草津市コミュニティ事業団、草津造園協同組合と（株）サンアメニティ大阪の三者共同による3年間の指定管理事業の最終年度となります。

引き続き、「施設を知り抜くプロの連携による『安全』『安心』『快適』の提供」、「みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり」、「誰もが健康で幸せに暮らせる健幸都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくり」の3つを重点方針として運営します。

また事業計画における収支バランスの改善を念頭に経費削減を意識した予算組みを行っていますが、既存事業のあり方を見直して拡大を図るとともに新規事業を模索するなどして、新たな収益の確保にも取り組みます。

一方、日常の業務においても単に従来のやり方を踏襲するのではなく、常にその意味合いを考え、必要なものは継続しつつも不要なものは大胆に変えていく、コストパフォーマンスを意識した業務遂行に引き続き務めてまいります。

① ロクハ公園プール管理運営事業

ロクハ公園プール再整備の方針は公表されたものの、改装・改修に向けた具体的なタイムスケジュールは明らかになっていません。

建設から37年が経ちあらゆる箇所で老朽化が目立ちますが、令和8年度においてもこれまで通りの運営が求められていることから、点検と修繕をしっかりと行い、構成団体である（株）サンアメニティ大阪とともに、そのプール運営事業のノウハウを活かした管理運営を行います。

1) プール営業日程および営業時間

- ・草津市都市公園条例施行規則に定められた営業日程・営業時間に対し、夏休み前の需要状況と日中の暑さ、残暑の厳しさを考慮した日程と時間が設定できるよう、市と協議を行います。
- ・営業日程に関しては昨年度と同様、7月上旬から9月中旬までを営業日程として検討を進めます。
- ・営業時間に関し、昨年度19時までの延長営業を3回行ないましたが、想定した集客効果が得られなかったため、本年度は例年通り17時までの営業とします。

2) プール非営業期間のプール施設の有効活用策

a) ドッグラン事業

- ・プール営業期間を除く通年で、芝生広場を活用したドッグラン事業を継続運営します。
- ・利用者の利便性向上に向け、必要に応じ運営ルールの見直しを行います。また新規

顧客開拓のための施策を検討し実施します。

b) ボールプール事業

- ・12月から3月までの期間限定で「ボールプール」を一昨年より開催していますが、「冬の遊び場」として大変好評を得ており、冬季定番イベントとして位置付けたいと考えます。
- ・一方、幼児用プールの半分のスペースをボールプールの設営に使用していますが、残り半分のスペースをどう使うか毎年試行錯誤しており、今年度も子どもたちを飽きさせない工夫が求められます。



令和8年度も25mプールが使用中止状態のため、水泳場としての営業期間は夏の2か月間となりますが、安全、安心、快適に、ロクハ公園プールの管理運営に努めます。

② 公園維持管理事業

対象となる公園は335カ所の市内公園（ロクハ公園含む）、および10カ所の緑地・緑道となりますが、いずれの施設においても遊具や外構設備の老朽化が進むとともに、植栽伸長への対応依頼が増加しております。

また住民の高齢化に伴い、従来町内会で行ってきた低木剪定や草刈り等も公園事務所に依頼できないかといった相談も寄せられるようになりました。人工芝を敷設した新たな公園の供用も行われ、管理対象の増加とともに人工芝ゆえの新たな問題も発生しています。

維持管理業務は量・質ともに増加・複雑化しており、定められた予算の中でそのすべてに対応するのは非常に厳しい状況となっております。緊急度・重要度の観点から優先的に取り組むべきタスクを選択し、市としっかり協議を重ねながら迅速で適切な対応に努めます。

一方、ロクハ公園を中心とした事業としては、ロクハ公園3大イベント（4月のロクハ春まつり、5月のGWフェア、10月の緑化フェア）においてイベント会社と協力し、多くの方に来園いただける、そして小さな子どもたちにとっては思い出の場所となるような楽しいイベントを提案します。

更に、小中学生の団体によるダンスパフォーマンスイベントや、吹奏楽サークルや中学高校の吹奏楽部による音楽イベントをロクハ公園3大イベントに合わせて野外ステージ等で開催するとともに、多目的広場を使った立命館大学による運動系イベントを不定期で継続開催します。



また令和3年度から開始したロクハ公園施設利用者向けのインターネット予約システムに、昨年度新たに「ボールプール」が加わりました。今後も必要に応じ、予約項目の追加やシステムのアップデート等を行っていきます。

③ 「みどりのサポートセンター」・ボランティア支援・ガーデニング推進事業

「みどりのサポートセンター」では、草津造園協同組合、公園ボランティアとともに「みんなですすめるガーデンシティくさつ」の基本理念のひとつ「つくる」を実現するため、住民による公園緑化を総合的にサポートしていきます。

町内会から要望があれば「駆け付け型ガーデニング講座」を開催して知識の普及を図るとともに、レイカディア大学や一般からボランティアを定期的に募集して、ロクハ公園や東山道記念公園内「陽だまりガーデン」のみどりの環境整備の充実を図ります。

公園を訪れた方々がガーデニングに関心を持ちガーデニングを始めるきっかけとなるような機会の提供も検討していきます。



④ 環境学習事業やロクハ荘との連携事業

環境学習事業では、ロクハ公園の恵まれた自然環境を最大限活用して、ウォッチングシリーズ、ロクハツアーシリーズ、〇〇の日シリーズ、カブトムシ観察会等の人気企画を自主事業として継続します。

ロクハ荘との連携では、立命館大学と連携した「ロクハ実験農場での活動」や、“つどいの広場くれよん”の未就園児や保護者を対象にした「子育て支援イベント」、そしてアウトドアクッキングや木工教室等の「緑波あそびクラブ」を共同で開催し、オールロクハで「健幸都市くさつ」に貢献します。



4. 社会教育および文化・スポーツに関する事業

(1) 文化ホール

令和8年度は、指定管理期間（令和7年度からの5年間）の2年目に入ります。「市民とともに創る文化ホール」を基本理念に、「誰もが等しく文化芸術に触れる場の提供」と、「草津らしさ」「草津ならではの」と呼ばれる、草津の魅力を舞台芸術創造事業を通してプロデュース、展開して行きます。事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力と中間支援機能を活かし、草津アートセンターは草津市文化振興条例、同計画の推進に寄与します。また、2館一括管理運営により、市民の皆さまが利用しやすく、それぞれのホールの特徴を生かした事業の展開を図っていきます。

ア. 鑑賞型事業

鑑賞型事業では、劇団四季のファミリーミュージカル公演や劇団四季『心の劇場』（小学6年生を対象にした無料公演）が定着してきています。また、多くの市民の皆さんに本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。

- ① 『クリア劇場 2026』 劇団四季ファミリーミュージカル
「カモメに飛ぶことを教えた猫」公演
- ② 劇団四季 心の劇場
市内小学6年生を無料招待するファミリーミュージカルの無料公演
- ③ 美しい日本の歌（共催）
- ④ びわこホール声楽アンサンブル クリア公演（共催）
- ⑤ 陸上自衛隊第三音楽隊（共催）



イ. 普及啓発事業

普及啓発事業では、劇場での発表等を目標に、地域、文化団体と連携し、プロの実演家を派遣するなど文化芸術活動への関心を深め、担い手の育成に努めます。

- ① 初心者向き担い手育成講座（市受託事業）
- ② プラスフェス関連ワークショップ（インリーチ）
- ③ 文化をツールとしたまちづくり事業（市受託事業）
文化ホールがコンサートを通して地域の課題解決や啓発活動に取り組みます。



ウ. 市民協働事業

① 『草津市芸術祭 2026』

市民合唱祭、市民文化祭、市民音楽祭を統合し、草津市芸術祭として、一般公募団体による実行委員会制で開催します。それぞれのジャンルに対応した舞台仕様で開催します。

- ### ② 南草津安心安全防災フェスティバル（共催）
- 警察、消防、自衛隊によるコンサート 他



エ. 創造型事業

① クレア舞台芸術学校 2026

芸術体験を通して舞台のルールや マナーを学び、草津の魅力を紹介する創作ミュージカル公演を目標にします。

（滋賀県障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業への参加）

オ. 情報発信事業

① 月刊草津アートセンター 情報誌の発行

② えふえむ草津 『月刊 草津アートセンター』

アミカホール、クリアホールのイベント情報番組
制作 4月～3月 12回



カ. 次世代育成事業

① アートスタート事業（市受託事業）

0歳児から本物の芸術に触れる機会の提供。赤ちゃんとそのご家族が気楽に楽しめるコンサート。

② クレアプラス・ジャズフェスティバル

市内の中学、高校の吹奏楽と大学、一般、バンド等の団体が一堂に会するブラスの祭典。



キ. アートセンター事業

① プログラム開発、活用

② 舞台芸術相談、プロデュース

③ アーティストマネージメント、コーディネート

④ 地域、学校連携（アウトリーチ、インリーチ）

⑤ 舞台制作相談



(2) スポーツ振興

事業団が公益目的事業を実施する拠点である指定管理施設において、今年度も多様な担い手と連携するなど、各種スポーツ事業を展開します。

<長寿の郷ロクハ荘>再掲

ア. eスポーツ介護予防事業（市受託事業）

- ①地域まちづくりセンターeスポーツ体験教室
eスポーツに取り組みたいという高齢者を対象に、6圏域の地域まちづくりセンターで、1回ずつeスポーツ体験講座を開催します。
- ②地域出前講座
地域サロン等でeスポーツによる介護予防に取り組みたいという団体に対して、地域へ出向き、講座を30回実施します。
- ③eスポーツルームの開設
ロクハ荘内にeスポーツルームを設置し、運営するとともに、機器の操作方法の質問等にも対応します。



イ. 立命館大学と連携した各種スポーツプログラムの実施

セラバンド（健康バンド）体操 等



<ロクハ公園>再掲

ア. 多目的広場を使った立命館大学による運動系イベントを開催します。

Ⅱ 収益等事業

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

① 道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の歴史・文化・名所の紹介等、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、情報発信と地域振興に努めます。

② 長寿の郷ロクハ荘、クリアホール、アミカホール、ロクハ公園等の維持管理

長寿の郷ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、文化ホールおよびロクハ公園等の修繕や維持管理を、経費節減に努めながら適正に行います。